

# 外交史料館：史料の探し方の基本

この資料では外交史料館の所蔵する史料の探し方、探し方のコツを解説します

## Q1. どんな史料がありますか？



外務省記録

東京の外務省と世界各地の在外公館との電信などを整理した「外務省記録」が主な所蔵史料です。その他にも幕末以後の各種史料を所蔵しています。

### 外務省記録（戦前期・戦後期）

外務省創設以来の、外交活動に関連する文書類を事項ごとに、ファイル単位に整理した記録です。記録は原本、マイクロフィルム、CD-R、DVD-Rなどの媒体で閲覧可能です。

戦後の史料は、原則保存期間30年を満了した文書が移管・公開されています。戦前期のものを中心に、ホームページ「アジア歴史資料センター」でインターネット上の閲覧も可能です。

## Q2. 史料はどうやって探せばいいですか？

探したい史料、テーマがある程度決まっている場合、閲覧室に備え付けの目録を利用することで、ファイルの検索が可能です。史料が対象とする時期によって検索方法が異なりますので、ご注意ください。

（外務省記録以外の各種史料については、個別の目録をご覧ください）

### ■ 戦前期の外務省記録

#### 『外務省記録 総目録<戦前期>』（原書房）

分類番号順に史料が掲載された「明治・大正期」「昭和期」の二冊、上記二冊の項目索引を掲載した「別巻（索引・消失記録）」が存在します。また、デジタル化済みの史料は「アジア歴史資料センター」で検索することも可能です。

### ■ 戦後期の外務省記録

「分類番号順」「公開・移管順」の二種類の順序で整理された目録ファイルがあります。目録は当館ホームページでも確認可能です。

どの目録を見るのが一番自分の調査目的に適しているのか？など、ご不明の点があればカウンターにお問い合わせください。



閲覧室 目録スペース

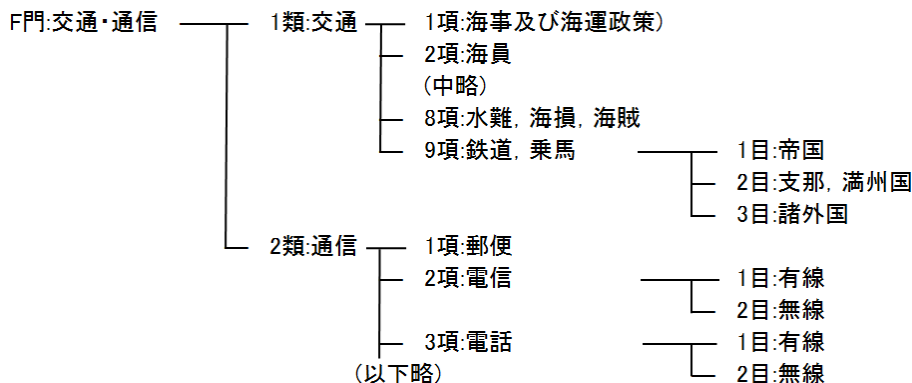


外務省記録 総目録

## Q3. 史料はどのように整理されていますか？

外務省記録はファイルの内容ごとに、門>類>項…という複数の階層からなる分類方法で、分類・整理されています。分類方法は「明治・大正期」「昭和戦前期」「戦後期外務省記録」「戦後外交記録（S分類）」で異なります。

たとえば「昭和戦前期」の場合、一番上の分類である門はA門：政治、外交，B門：条約、協定、国際会議，C門：軍事，D門：司法、警察，E門：財政、経済、産業、貿易，F門：交通、通信…などとなっています。更に下の階層は、一例として昭和戦前期のF門の場合、下記のようになります。



分類を理解することで、チェックする史料を絞り込むことができます。次ページではいくつかの具体的な例や、史料の探し方のコツを解説します。

### Q3. 史料はどのように整理されていますか？：具体的な史料の分類の例

昭和戦前期・F門のある史料を紹介します。

分類法の例（外務省記録・昭和戦前期）

#### F.2.2.1.2「本邦各国間海底電線連絡利用雑件」

門：F …交通、通信

類：2 …通信

項：2 …電信

目：1 …有線

号：2 …目の中の整理番号

内容：日本と海外の電信連絡に使用された海底電線に関する記録を整理したものです。「対商業大平洋改訂電信会社追加約定締結二関スル件」「本邦、ニュージーランド間海底電線料金引下ノ件」など、電線の敷設や使用料金設定、各種トラブルなどを案件ごとに整理しています。

同じ分類には類似の記録が整理されています。例えば、上記の分類には、日中間の海底電線の取扱いを扱ったF.2.2.1.2-1「本邦各国間海底電線連絡利用雑件ノ日、支間ノ部（事故関係ヲ含ム）」が存在します。合わせて確認することで、調べたいテーマの理解を深める史料が見つかるかもしれません。

### Q4. 史料の探し方のヒントはありますか？

#### (1) 調べたい出来事を特定する。

- 「外務省記録」は、関連人物の名前で検索することに向きません。事前に調べたい、関連する事項を調べておくといでしょう。また戦前期の記録は、『外務省記録 総目録<戦前期>』の別巻（ファイル・分類項目索引）から絞り込むことも可能です。

例：西南戦争に関連する記録を見たい。

⇒『外務省記録 総目録』別巻の索引で「西南戦争」を確認、関連史料を特定。

西南戦争……………(5)378-5~6

「明治・大正期」378ページ、5~6行目の「5門（軍事）」に関連史料あり！

#### (2) ファイルの整理分類や作成時期から特定する

- 分類項目や、史料の作成・取得期間から、絞り込むこともできます（後者は戦後の史料のみ可能）。

例：1973年のマクナマラ世界銀行総裁訪日について調べたいが、それらしい件名の史料が見つからない。

⇒要人の訪日を扱う分類番号SA.1.3.0.から、1973年頃の史料を確認、「日米要人往来」（管理番号2013-2359）を閲覧申込。

分類表で絞り込み…

門	類	項	目
SA	政治・外交・国際紛争	1	政治・外交・国際紛争
		3	本邦諸外国間人事往来
			0
			1
			2

時期で推定！

管理番号	分類				件名	簿冊数	作成年月日		作成課室	利用制限区分	移管年月日
	門	類	項	目			開始	終了			
2013-2357	SA	1	3	0	日米要人往来	1	1961/2	1961/6	北米局北米第一課	要審査	2013/7/9
2013-2359	SA	1	3	0	日米要人往来	1	1972/2	1974/1	北米局北米第一課	一部非公開	2013/7/9

### Q5. 事前申請等が必要な史料について

#### (1) 取り寄せが必要な史料

戦前期の一部史料は本館以外で原本を保存しており、取り寄せの期間（一週間程度）が必要です（CD-ROMの複製物は即日閲覧可能です）。対象の史料はホームページや閲覧室内の掲示物をご確認ください。

#### (2) 利用制限区分が「要審査」のファイル（戦後期の史料のみ）

利用制限区分「要審査」の史料は公開審査前のため、当日閲覧ができず、別途「利用請求」が必要です。複製物の利用が可能な場合もあるため、目録の確認や、カウンターへの確認をお願いします。

### Q6. 効果的な史料調査のために：事前の調査をおすすめしています

事前に文献等で使用されている史料を確認すると、調査がより効率的になります。閲覧室では調査のため『日本外交史事典』などの閲覧用貸出や、レファレンス対応もお受けしています。

この他に 主要な外交文書を整理・編纂・活字化した文書集『日本外交文書』（書籍の他、当館ホームページでも公開中）、当館の主要な所蔵史料をインターネットで閲覧可能な「アジア歴史資料センター（www.jacar.go.jp）」も存在します。合わせてご活用ください。